

所属・氏名（ 薬学部 薬学科 氏名：覚前美希 ）

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1 (報告・発表) 薬剤師の多理論統合モデル に基づく介入の検討 -呉市骨粗鬆症重症化予防プ ロジェクト-		2021年10月 11月	第31回 日本医療薬学会	呉市骨粗鬆症重症化予防プロジェクトの一環として、薬局薬剤師が多理論統合モデルに基づく介入を実施、最終結果報告を行った。今後の課題として、アルゴリズムやプロトコルの見直しに加え、薬局薬剤師と処方医が連携して対象患者を抽出する体制の構築が必要であると考えられた。
2 (報告・発表) 新型コロナウイルス感染症流 行下における実務実習方法 の模索		2020年12月 1月	第59回 日本薬学会・ 日本薬剤師会・ 日本病院薬剤師会 中国四国支部学術 大会	新型コロナウイルス感染流行下における実務実習方法について報告を行った。 久賀谷幸昌、浜崎浩一、福原伸治、山崎美保、 中村護、西園寺真二、下川福子、 <u>覚前美希</u> 、田 山剛崇、三宅勝志、面田恵
3 (報告・発表) 呉市骨粗鬆症重症化予防プ ロジェクトにおける薬剤師の多 理論統合モデルに基づく介入		2020年10月 11月	第30回 日本医療薬学会	呉市骨粗鬆症重症化予防プロジェクトの一環として、薬局薬剤師が多理論統合モデルに基づく行動科学的アプローチを行った。中間報告を行うとともに、課題について検討した。 <u>覚前美希</u> 、羽山順子、松村智子、濱崎匡史、要 田弥生、大塚幸三、金子富美、津田彰、三宅勝 志
4 (報告・発表) 健康寿命延伸に向けて 薬局薬剤師による行動科学を 用いた骨粗鬆症重症化予防 への取り組み		2020年10月	第22回 骨粗鬆症学会	薬局薬剤師による行動科学を用いた骨粗鬆症重症化予防への取り組みについて報告を行った。 金子富美、杉岡勇樹、山口信也、深町潤、川畑 信明、大塚幸三、 <u>覚前美希</u> 、谷佳成恵、西昭 徳、津田彰
5 (報告・発表) 薬局プレアボイドの現状と Web サイトを活用した詳細解 析事例の共有		2019年10月	第39回 広島県薬剤師会 学術大会	薬局プレアボイドの現状と Web サイトを活用した詳細解析事例の共有について検討を行った。 水島美代子、永野利香、胡明史子、岡本 知子、 木平孝高、三宅勝志、 <u>覚前美希</u> 、木村康浩、 澤田康文
6 (報告・発表) 大学教員の臨床研修に対す る取り組みと今後の課題		2019年 7月	医療薬学フォーラ ム 2019 第27回クリニカル ファーマシー シンポジウム	大学教員の臨床研修に対する取り組みと今後の課題について検討を行った。 <u>覚前美希</u> 、田山剛崇、下川福子、面田 恵、前 田頼伸、前田志津子、大松秀明、木村幸司、 佐々木順一、佐和章弘、三宅 勝志

令和 4 年 6 月 2 日 現在